

液体型掘削土砂改良固化剤

TGロック-L

土木現場、特にシールド工事・基礎工事・掘削工事などから大量に発生する泥状土は、含水率が高く流動性があるため土砂運搬時において取り扱いが困難であり、従来より使用されている無機系固化材の活用においては現場での非作業性・非環境面などの諸問題があげられます。TGロック-Lはこれら諸問題を考慮した液体高分子系固化材であり、少量添加のうえ短時間による改良を可能とし、改良後土砂のPHに影響を与えないため環境循環型の泥土固化処理をすることができます。また液体製品であるため液体材料添加装置を用いた定量添加が可能です。

TGロック-Lの特徴

高い安全性

TGロック-Lは土砂PHに影響を与えないため改質後の公害発生はありません。

作業性の向上

粉末製品と比べ液体ですので粉塵が一切たたないの、作業環境に優れています。

また、液体材料添加装置を用いた機械管理により、作業の簡易化ができます。

短時間で改質可能

TGロック-Lは無機系固化材と比べ改質時間が短いため、仮置きスペースの必要性がなく処分場まで直送できる都市土木型固化剤です。

低添加量で改質可能

TGロック-Lは少量添加で改質可能なため、従来の無機系固化材のような粉塵発生・製品サイロ・体積増加の諸問題の心配がありません。

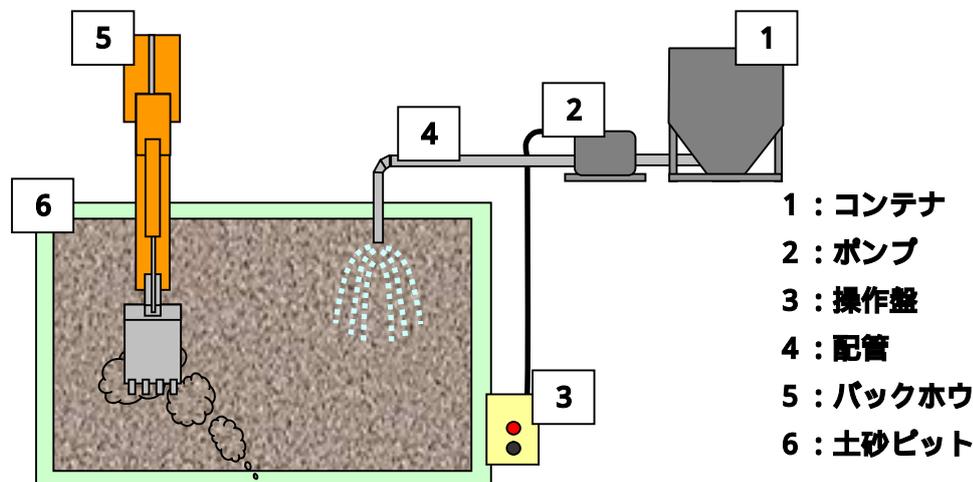
改質後の安定性

TGロック-Lで改質した泥土は、製品効果である接着能力により強固に団粒化されているため、雨水や運搬の振動などの影響で泥状化することはありません。

改質後土砂の乾燥性

TGロック-Lで改質した泥土は、表面積が増大するために改質前の泥状土と比較して乾燥が早くなります。

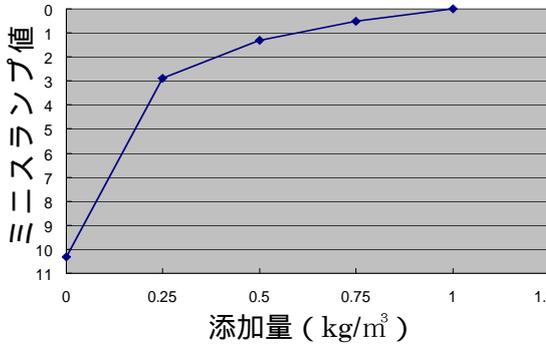
液体材料添加装置概略図



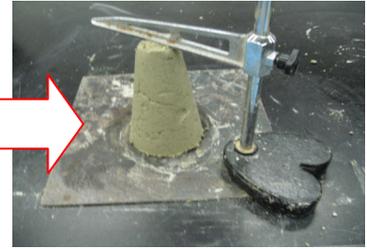
TGロック-Lの取扱説明

TGロック-Lを泥土に添加して、混合攪拌してください。攪拌が不十分な場合は改質効果が低下しますので、よく混合攪拌してください。泥土の含水比、土質等により差はありますが、改質用の混合攪拌設備を活用すると約30秒前後にて改質することができます。

ミニスランプ試験

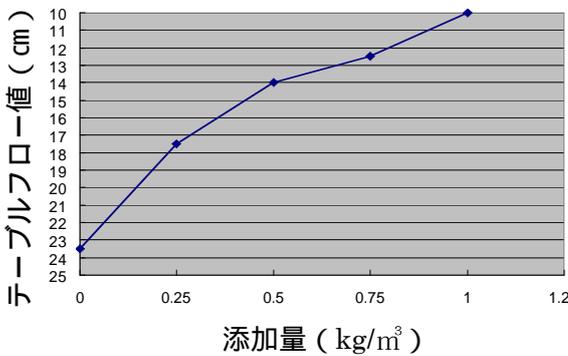


TGロック-L添加前
スランプ値: 10.3 cm



TGロック-L 1.0kg/m³添加
スランプ値: 0 cm

テーブルフロー試験



TGロック-L添加前
テーブルフロー値
23.5 cm × 23.0 cm



TGロック-L 1.0kg/m³添加
テーブルフロー値
10.0 cm × 10.5 cm

TGロック-Lの性状規格

外観	観 : 淡黄色液体
pH	H : 7.5~8.5(0.2%溶液)
真比重	重 : 1.0±0.1
荷姿	姿 : 18kg 缶・1 m³コンテナ・ローリー車搬入

テクニカ合同株式会社

(本社) 〒658-0015

神戸市東灘区本山南町8丁目6番26号 東神戸センタービル12階

TEL078-436-0280 FAX078-451-0257

(東京営業所) 〒121-0813

東京都足立区竹の塚4丁目9番5号 107号

TEL03-5831-1230 FAX03-5686-0780

(仙台営業所) 〒981-3133

宮城県仙台市泉区泉中央1丁目16-6 泉中央ビル9階

TEL022-375-3981 FAX022-375-3983

(神戸研究室) 〒652-0084

神戸市兵庫区和田山通1丁目2番25号 D棟405号

TEL・FAX078-671-1190

URL : <http://www.technica-goudou.co.jp/>